

第55回DAPAカンファレンス

case76

高度生殖医療を併用し流産後、再移植に至らない一症例

2026年4月13日

鍼灸マッサージ治療サロンR

島田りか

40歳代 女性

主訴: 不妊症

医師の診断名: 不妊症

家族歴: なし

既往症: クラミジア・子宮癒着で腹腔鏡手術 (X年)

現病歴: 不妊症

医療機関: A不妊クリニックで治療中(X-1年3月~)

内服薬: 別途記載

サプリ類: 別途記載

生活歴: アルコールは妊活始めてからほとんど飲まない **喫煙** (ー)

食事 旬の食材を取り入れ、家庭で作ったものがメイン

出産歴: なし (中絶経験あり)

アレルギー: なし

客観的情報

身長: 157cm

体重: 54kg

BMI: 21.91kg/m²

基礎体温:採卵や、移植時には、クリニックで、ホルモン値を測り、数値によってエストロゲンや黄体ホルモン補充を行っているため、計測していない(薬はその時によって異なる)

検査: 血液検査

AMH

子宮鏡検査

子宮卵管通水検査 (左卵管詰まりあり、右卵管狭い)

クラミジア検査 (陽性・子宮癒着があったので、腹腔鏡手術を行った)

内服薬: ディファストン (黄体ホルモン補充薬子宮内膜の状態を良くする)

注射: ゴナールF (適切な卵子数を得るため、調節卵巣刺激を行う)

点鼻薬: GnRHアゴニスト (排卵前にエストロゲンを抑制し自然排卵を防ぐ)

膣座薬: ウトロゲスタン膣用カプセル (プロゲステロン補充薬として子宮内膜に作用し、受精卵が着床しやすくする)

貼り薬: エストラナーテープ

(エストラジオールとして子宮内膜の肥厚を助ける)

サプリメント:

ガードネル菌が多く、ラクトバチルス菌が少なかったため、
医師の処方で、抗菌剤を使用し、ラクトバチルス菌の量を増やす
ためにサプリメントを膣剤と経口で入れた

・膣剤

ラクトフローラフォルテ

・経口投与

ラクトフローラ



生活状況（仕事、家庭環境等）

- 仕事は週5日出勤、残業はほとんどなしの会社員
（8時半過ぎに家を出て、19時半頃帰宅）
- 8時間労働の間、パソコンと社長秘書兼務
- 運動はフィットネスジムに通っている（帰宅途中下車 4/W）
（メニューはその時によって異なるが、筋トレや、
ハードなダンス系が好み）
- 配偶者の年齢は5つ上である
- 初診時では、同棲していたが未入籍、
大きな犬を飼っていてその子も一緒に住んでいる

心理社会的背景

- 九州出身
- 性格はとても明るい
- フルタイムの会社員だが、本人的にはストレスもなく充実している

東洋医学的情報

証: 肝陰虚・瘀血・任脈の虚証

寒熱: 熱 **燥湿:** 燥 **汗:** 気にならない **食事:** 朝食抜き

二便: 便秘気味 (2~3日に一度、硬めの便がでる)

睡眠: 少ない (5時間取れない) **月経:** 28日

七情: 平穏 **水滯:** なし **硬結:** 頸部太陽小腸経ライン

圧痛: なし **虚実:** 実

脈診: 浮、数、滑、

舌診: 舌色 淡紅 舌尖に瘀斑あり

苔色 薄白苔 中心部がやや淡黄 舌下静脈の怒張あり

腹診: 少腹急結

舌写真

